

令和7年9月30日

各関係機関の長 殿

国立大学法人宇都宮大学農学部
学部長 山根 健治
【公印省略】

宇都宮大学農学部教員公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび宇都宮大学農学部では、下記の要領により教員（助教）を公募することになりました。
貴機関関係者にご周知方よろしくお取り計らいくださるようお願いいたします。

謹白

記

- | | |
|-----------|---|
| 1. 職名及び人員 | 助教 1名 |
| 2. 専門分野 | 環境共生経済学分野，ソーシャルビジネス分野
（地域が抱えている食，農，農村社会，自然資本，文化資源などの多様な課題に対し，データサイエンスや計量経済学，機械学習等の専門知識とスキルを活かして，その解決に貢献できる人材を募集します。社会課題の解決を通じた社会的利益と経済発展の両立の実現に対し，意欲ある人材を求めます） |
| 3. 仕事内容 | ①環境共生経済学およびソーシャルビジネス論の講義
②農業経済学基礎演習，農業経済学応用演習，農業経済学分析演習のゼミナール
③環境共生経済学，農業・農村経済学特別演習・特別研究（大学院博士前期課程）
④農林共生社会科学特別演習・特別研究，フードシステム学特論（東京農工大学大学院連合農学研究科・博士後期課程）
⑤新入生セミナーなどの基盤教育科目の分担講義
⑥エコロジカル社会経済学科卒業論文や大学院修士論文の指導
上記から，本学の大学教員の業務の範囲内で変更があります。 |
| 4. 勤務形態 | 常勤・任期5年
本公募では，テニユアトラック制による採用となります。宇都宮大学テ |

ニュアトラック制に関する要項に基づき、テニュアトラック期間が満了する 6 ヶ月前までにテニュア付与の審査を行い、合格すればテニュアを付与します。テニュア審査は、中間評価及び最終評価により行います。

最終評価の結果、不合格となった場合は、テニュアトラック期間の満了をもって退職となります。

テニュアトラック期間に出産・育児・介護等のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニュアトラック期間を一定期間延長することができます。

その他待遇は国立大学法人宇都宮大学職員就業規則に従います。

5. 採用予定日

令和 8 年 4 月 1 日

6. 応募資格

①博士の学位（外国において授与された方はこれに相当する学位を含む）を有する者

②国籍は問わないが、日本語で上記の担当授業科目を実施する能力を有する者

③環境共生経済学、ソーシャルビジネスの分野において、優れた研究業績を有し、学部生、大学院生の教育並びに研究指導に熱意を持ち、大学院・学部・学科等の大学運営に関わる業務に積極的に取り組める者

7. 待遇

①給与等 国立大学法人宇都宮大学年俸制給与規程に定めるところによる

（参考）年俸（基本年俸、業績給及び地域手当）

修士課程修了者(24 歳～)の場合 4,921,000 円～

博士課程修了者(27 歳～)の場合 5,613,000 円～

※経験、職歴等により決定し、上記の外、要件を満たす場合に諸手当を支給

※上記は 1 月～12 月までの 1 年間を勤務した場合の年俸額

②勤務形態 専門業務型裁量労働制を適用し、労働時間の算定はみなし労働時間（1 日 7 時間 45 分）による

③休日 土・日、祝日、年末年始（12/29～1/3）、学長が指定した日

④休暇 年次有給休暇、特別休暇等

⑤社会保険等 文部科学省共済組合、雇用保険加入

⑥試用期間 無（テニュア付与審査を経て、テニュア取得が可能）

⑦雇用者 国立大学法人宇都宮大学

⑧勤務場所 宇都宮大学峰キャンパス

本学のすべての事業場（テレワークを行う場所を含む）

8. 応募書類

①履歴書（様式指定） 1 部

②業績調書（様式指定） 1 部

- ③教育・研究における抱負（様式指定） 1 部
- ④これまでの研究内容（A4 版用紙に 2,000 字程度，様式自由） 1 部
- ⑤社会貢献に対する抱負（A4 版用紙に 1,000 字程度，様式自由） 1 部
- ⑥応募者の研究・人物等について照会できる方（2 名）の氏名・所属・連絡先
- ⑦主要な原著論文と学術著書 5 編以内（別刷りまたは学会等の Web サイトに掲載された PDF をダウンロードして印刷したもの。学術著書ではコピー。オンラインによる提出の場合は PDF で可）

なお，様式①～③は本学 HP（<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/outline/saiyojyoho.php>）よりダウンロードしてください。

9. 応募締切日 令和 7 年 10 月 31 日（金） 必着

10. 応募書類の送付先 【オンラインによる提出の場合】

宇都宮大学農学部 福田竜一 宛

e-mail : rfukuda@cc.utsunomiya-u.ac.jp

【郵送による提出の場合】

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

宇都宮大学農学部 福田竜一 宛

※封筒には「教員応募書類在中」と朱書きし，簡易書留で郵送してください。

11. 選考方法

- ①書類選考後，面接による二次審査（「環境共生経済学分野」に関する 15 分程度の模擬授業，着任後の教育・研究に関する抱負等）を実施します。
なお，面接を行う場合の旅費等は自己負担となりますので，ご了承ください。

※選考の経過・採否についての問い合わせには応じかねますので，ご了承ください。

- ②応募時に提出された書類の個人情報については，採否の検討及び決定に限って使用いたします。
- ③応募書類（別刷りまたは学会等の Web サイトに掲載された PDF をダウンロードして印刷したものを含む）は原則返却しませんので，あらかじめご了承ください。返却を希望される場合は，切手を添付した返送用の封筒を同封して下さい。

12. 特記事項

- ①農学部では令和 8 年度に改組することを計画しています。詳細についてはお問い合わせください。
- ②本学は，男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って，女性の積極的な応募を歓迎いたします。特に，本公募では，選考において業績評価が同等と認められる場合には，女性を優先して採用します。
- ③本学は子育て・仕事の両立支援策を推進しており，峰キャンパス内には

社会福祉法人峰陽会が運営する「宇都宮大学まなびの森保育園」があり、学童保育にも対応しています（定員等により入園できない場合があります）。

④峰キャンパス及び陽東キャンパスのある宇都宮市は、共働き子育てしやすい街ランキング（日経 DUAL×日本経済新聞の自治体調査）で高い評価を受けています。

13. 受動喫煙防止 全キャンパス敷地内は全面禁煙となっております。

14. 関係規程等 （参考：国立大学法人宇都宮大学テニユアトラック制に関する要項）

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000136.htm

（参考：国立大学法人宇都宮大学テニユアトラック教員の評価及びテニユア審査に関する申合せ）

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000137.htm

（参考：国立大学法人宇都宮大学年俸制給与規程）

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000036.htm

（参考：国立大学法人宇都宮大学職員就業規則）

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/act/frame/frame110000026.htm

（参考：宇都宮大学規程集トップページ）

http://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/

15. 問い合わせ先 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

宇都宮大学農学部 福田竜一 宛

e-mail : rfukuda@cc.utsunomiya-u.ac.jp

<付記>

本学部は、東京農工大学および茨城大学とともに博士後期課程のみの大学院（東京農工大学大学院連合農学研究科）を構成しており、採用後は連合農学研究科の指導教員資格審査を経て博士課程の教育研究の指導にも携わっていただくことになります。また、本公募の環境共生経済学・オルタナティブ経済分野、ソーシャルビジネス分野は、本学の地域創生科学研究科農業・農村経済学プログラムを構成しており、地域創生科学研究科の代議員会を経て、博士前期課程の教育研究の指導にも携わっていただくことになります。

宇都宮大学は地域の「地（知）の拠点」として地域社会から期待・信頼され、広く社会に貢献する開かれた大学として、「グローバル社会への対応」、「イノベーション創出」、「活力ある持続可能な地域社会の形成」を目指して、教育・研究・社会貢献を推進しています。

農学部では、生命の営みを遺伝子レベルから個体レベル、集団レベルにおいて研究して、食料生産およびヒトが健康に生きるための食品や日用品の開発、地球上の生態系の保全にも貢献することを目指しています。

農業経済学科では、国内外の食料・農業・農村について社会科学の視点から教育・研究を行っています。社会科学の理論、分析手法の修得とともに、演習や実習を通して「自ら学び、自ら思

考する」能力の向上を図り， 実社会に貢献できる人材を養成します。

このような視点に立ち共に教育・研究・社会貢献を担っていく人材を求めています。なお，学科の概要については HP (<https://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/gakka/03.html>) を参照して下さい。